



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		FSSC22000を取得し、そのマネジメント手法を活用して廃棄物や有害化学物質の適切な管理及び処理等、環境汚染防止に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー使用の合理化目標を設定しており、環境負荷の小さいLNG等のエネルギー源の使用、エネルギー効率の高いボイラー設備・空調設備・製造設備を導入、照明のLED化、廃熱回収利用、保温マット設置による放熱防止等、毎年エネルギー使用量及びCO2排出量の削減に取り組んでいる。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		環境負荷の小さいLNG等のエネルギー源を活用しており、エネルギー管理を行い、省エネ効果の高い設備の選定、CO2排出量の少ない車両の選定等、温室効果ガスの排出量を把握して管理し、排出量の抑制に取り組んでいる。			2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		排水処理の管理徹底、CO2削減に取り組んでいる。また製造副産物として、おからを乾燥させ肥料・飼料とし、納豆残渣を肥料とする等、廃棄物の削減に取り組んでいる。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		資材ロスの削減・原料ロスの削減に各工場で行っている。製造副産物の有効利用として、おからを乾燥させ肥料・飼料とし、納豆残渣を肥料とする等、効率的な資源利用に取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		井戸水使用量と水質の管理、定期的な水質検査を徹底しており、節水や水の保全を実施している。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		2021年に開発して発売したスティック納豆は、従来のトレータイプの納豆と比較し、パッケージのプラスチックが3分の1以下に抑えられる商品であり、環境に配慮した新形態の商品を開発している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		製造設備やオペレーション改善により、工場での原料ロスの削減に取り組んでいる。在庫管理の徹底・過剰製造商品の直売店販売やフードドライブ活用により食品ロスの削減に取り組んでいる。	1	2					6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		工場や本社敷地内の緑化や植栽に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		LNGの導入や、高効率ボイラー・コンプレッサーの導入等、エネルギー使用率の改善に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		農業法人を立ち上げ、耕作放棄地の活用に取り組んでいる。						6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		農業法人を立ち上げ、耕作放棄地の活用に取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		新形態の納豆『スティック納豆』の開発と販売促進により、プラスチック使用量の削減、資材ロスの削減に取り組んでいる。														12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		社用車をハイブリッドカー等のエコカーへ転換し、環境にやさしい自動車の使用を促進している。											9.4			11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		エネルギー源としてCO2排出量の少ないLNGのサテライト設備を導入して利用、高エネルギー効率の製造設備の導入、廃熱回収設備の導入、ハイブリッドカー等のエコカー導入によるCO2排出量の削減に取り組む、カーボンニュートラル社会にする為のCO2排出量管理と削減に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2	

